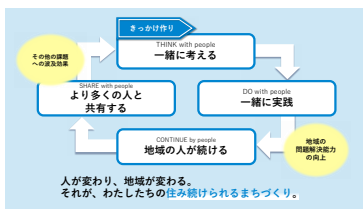


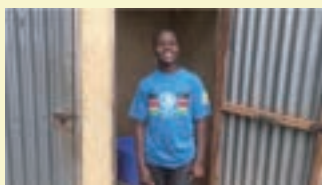
# 私たちが目指すまちづくり



日本ハビタット協会が目指す「住み続けられるまちづくり」

## 柱となるプロジェクト

### ケニア スマイルトイレプロジェクト 衛生環境改善を通した まちづくり



完成したトイレの前で笑顔で喜びを語る少女



手洗いの啓発活動

### ラオス 環境保全事業 人の暮らしと自然が守られる まちづくり



地域でのゴミ拾い活動



環境に配慮した有機野菜の栽培

## 1 住民が創造する地域社会

日本ハビタット協会は、より良い地域社会を創造していくのは、その地域で暮らす住民達だと考えています。地域住民とその地域が抱えている問題と解決方法を一緒に考え、そして、住民と協力しながら事業を実施していきます。それにより、住民の問題解決能力が向上し、将来的

に地域主体で事業が継続していくことが可能になります。そして、それが他の地域へ波及していくことで、より広い地域の暮らしが改善することにつながります。それが私たちの目指す「住民主体の住み続けられるまちづくり」です。

## 2 日本ハビタット協会が取り組む課題

SDGsでは、17の目標と169のターゲットが定められています。日本ハビタット協会は、水と衛生環境、そして自然環境問題への取り組みをさらに促進していきます。

水は人々の命と暮らしの根源になりますが、世界では安全な水にアクセスできない人が多く存在しており、この改善はなかなか進んでいないのが現状です。特に、開発途上国の農村地域や雨季と乾季に分かれている地域では、水を確保するのが非常に難しく、人々の命と暮らしが脅かされており、早急に解決しなければならない課題です。日々の暮らしで使用する生活水を安定して供給していくコミュニティベースでの持続可能な給水システムを構築することで、人々の命と暮らしが守られた地域社会を創造していきます。

衛生環境は貧困といった負の連鎖を断ち切り、人々が健やかな生活を送る上でとても重要です。スマイルトイレプロジェクトを実施した地域では、各家庭でトイレを使えるようになり、下痢や感染症などの病気になるリスクが大幅に減り、安心して働けたり学校に通えたりと日々の生活を安心して過ごせるようになりました。

衛生環境の改善は、確実に地域社会の発展につながります。トイレを使えない人は未だ多く存在しますので、スマイルトイレプロジェクトの事業規模をさらに拡大するとともに、本プロジェクトを通して蓄積された技術と事業運営手法を活かして、ケニア

国内の同様の問題に苦しむ地域や隣国に事業を拡大していきます。

気候変動による熱波や洪水、山火事などが世界各地で頻発し、私たちの生活を考える上で自然環境保全是取り組むべき課題です。過去の環境保全事業では、植林や果樹増殖技術や有機農法指導、ゴミ分別などに取り組んできました。特に、環境に配慮した農業指導は農業が主たる産業である地域において、自然環境を守りつつ住民の暮らしを改善するのに大変有効でした。これらの経験と技術を活かし、自然から恩恵を受けながら生活している地域において環境保全事業を展開し、人々の暮らしと自然の双方が守られた地域社会の創造に寄与していきます。

日本ハビタット協会は、設立20周年を新たな出発点として、団体の使命である「世界中の人々がより良い暮らしができ、安全で安心して住み続けられるまちづくり」を推進し、国連ハビタットとともに世界的な課題であるSDGs(持続可能な開発目標)の達成に寄与していきます。



### 3 日本ハビタット協会のビジョン

20年間にわたり多くのまちづくり事業を実施してきましたが、時代とともに世界が抱える課題は複雑多様化しています。気候変動、紛争、新型コロナウイルス感染症といった予期せぬ感染症の蔓延など私たちの社会を取り巻く課題は常に変遷していきます。日本ハビタット協会はSDGsの目標達成に向けて取り組みを推進していくとともに

に、SDGsの期限となる2030年後も引き続き世界中の人々が安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与していきたいと考えています。設立20周年を機に、パナソニック株式会社より助成を受けて組織基盤強化を図り、今後10年、20年を見据えたより良い地域社会の創造へ向けた日本ハビタット協会の使命をあらためて定めました。

#### 日本ハビタット協会の使命

国連ハビタットの理念を共有し、市民とともに、世界中の人々が、より良い暮らしができ、安全で安心して住み続けられるまちづくりを推進する。

この使命の下、国内外のまちづくりに関する課題の解決に向け、持続性あるまちづくりについての知識と経験を活かしながら住民が主体となった持続可能なまちづくりを推進していきます。また、これまで現地協力団体をはじめ、自治体、政府機関と協力しながら事業を行ってきましたが、これからは企業との協働も強化していきたいと考えています。企業が有する商品やサービスは途上国における生活環境を改善する可能

性が大いにあります。企業とNGOが協働することで、これまでにない問題解決へのアプローチと革新的な事業が展開され、地域社会をより良い方向へ進めることができます。そして、市民団体であるNGOとして日本国内において支援の輪を広げていき、市民のみならずとともに世界中の人々が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいと思ひます。

### 4 中長期的展望

まちづくりに関する課題を効果的に解決していくため、これまで蓄積した事業運営能力、育んできた人的ネットワークを活用して、草の根技術協力事業や日本NGO連携無償資金協力、公的資金、助成金等を獲得し、住民主体の持続可能なまちづくり事業を広く展開していくとともに団体運

営を強化していきます。また、Webツールや広報専門家のプロボノを活用しながら、市民の目線に立ち、分かりやすく当協会の活動や使命について広報していくことで、より多くの共感を生み出していき、市民から支えられる強固な団体へと成長していきます。

### 5 これからも市民のみなさまと共に歩む団体へ

設立以来、市民のみなさまに支えられて今日まで活動してきました。空港の募金箱回収活動をはじめ、外貨コイン仕分け活動、街頭募金活動などのボランティア活動に多くの方が参加して下さいました。また、国内で災害が発生した際は、支援物資の調達や輸送、現地での受け入れなどにご協力をいただきました。日本ハビタット

協会は、これまで育んできた人と人とのつながりを大切に、さらにそのつながりを広げていき、共により良い地域社会をつくりあげていく喜びを共有できる団体を目指していきます。当協会の理念や活動に共感していただいたみなさまの思いをしっかりとつなぎ、世界中の人々の笑顔あふれる暮らしをつかっていきたいと思ひます。

#### 市民・企業の皆様からのご協力

当協会はこれまで市民と企業の皆さまに支えられながら活動してきました。企業の皆さまには、助成金や寄付金等のご支援だけでなく、外貨コイン仕分けなどのボランティア活動にも、積水化学工業(株)、(株)ジェーシービー、三菱商事(株)、三井物産(株)、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、(株)電通、日本郵船(株)等の社員の方々にご参加いただき、空港等に設置してある募金箱に寄せられる外貨などの寄付を支援活動に役立てていただきました。



[上] 企業でのワークショップ [下] 社員の方が一生懸命仕分けして下さいました



また、各空港の募金箱設置にご協力いただいております。成田国際空港(株)、東京国際ターミナル(株)、北海道エアポート(株)、中部国際空港(株)、関西エアポート(株)、福岡国際空港(株)、博多港開発・西部ガス共同事業体、長崎空港ビルディング(株)、熊本空港ビルディング(株)、那覇空港ビルディング(株)に心より感謝申し上げます。



[上] 2005年のボランティアデー [下] 2019年のボランティアデー



市民のみなさまにもご寄付をはじめボランティア活動への参加などご協力をいただきました。特に、ボランティアネットワーク「ハビタットフレンズ」の方々には空港募金箱の回収をはじめ、コイン仕分けや広報イベント開催、災害時における募金や支援活動へのご協力などに多大なるご協力をいただいております。